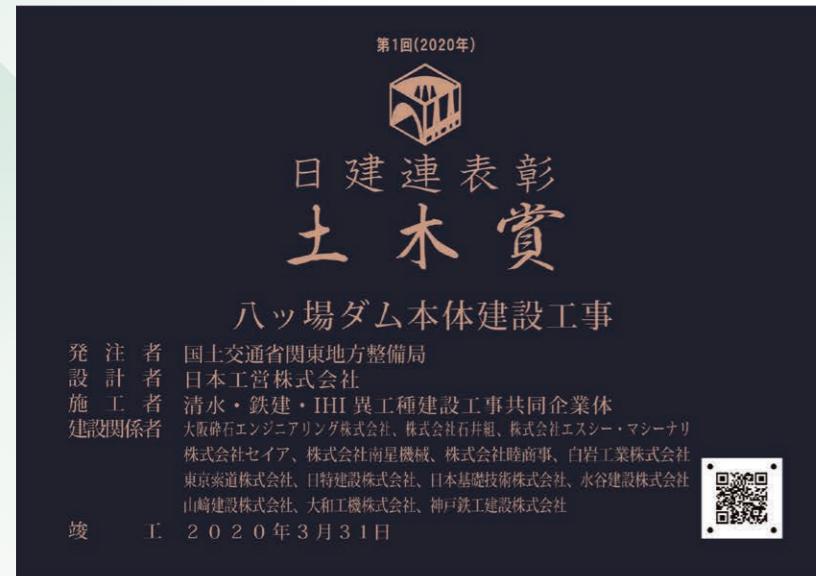


土木賞選考委員会

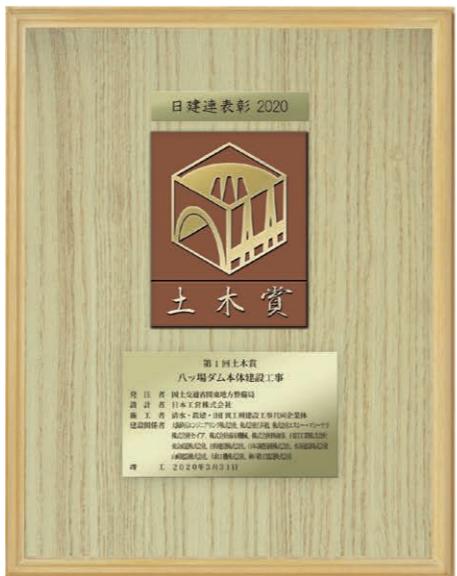
木村 亮	京都大学	岩波 基	早稲田大学
田島芳満	東京大学	沓掛敏夫	国土交通省
野中 賢	日経BP	多田 智	建設コンサルタンツ協会
杉山玄六	日本建設機械施工協会	河上清和	日建連表彰委員会土木部会
清水正巳	日建連表彰委員会土木部会	中田 稔	日建連表彰委員会土木部会

(2024年9月1日時点)

表彰パネル・賞牌



発注者（施設管理者）に贈られる、受賞したプロジェクト・構造物に取り付けることのできるブロンズ製
表彰パネル



設計者、施工者及び建設関係者に贈られる賞牌

事業の意義を継承し
土木技術の進歩向上を目指す
日建連表彰土木賞への応募をお待ちしています



確かなものを 地球と未来に
一般社団法人 **日本建設業連合会**
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

〒 104-0032 東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館 8階
URL <https://www.nikkenren.com/doboku/prize>



日建連表彰 土木賞

The Construction Excellence Prize of the JFCC Award



日建連表彰
土木賞

日本建設業連合会(日建連)では、60年の長きにわたり、わが国の優れた建築物を表彰してきた「BCS賞」に並ぶ新たな表彰として、2020年、「日建連表彰 土木賞」を創設しました。「土木賞」は、社会基盤として国民生活と経済活動を支える土木分野の優れたプロジェクト・構造物を表彰するものです。出来上がった構造物だけでなく、事業企画から設計・施工、維持管理まで

を視野に入れ、施工の過程で直面する様々な問題を解決しながら、関係者が一丸となり、現場で要求される品質をいかにクリアしたかを選考の視点とする新たな表彰制度です。

日建連は、良好な土木資産を創出し、国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与すべく、土木賞をはじめとする活動を進めて参ります。

【日建連表彰 土木賞ロゴについて】

土木賞の特徴である「多様な関係者」を六角形の輪郭とし、その共通する視点として、六角形の中心に位置する施工プロセスを具現化するため、応募の多い代表的な土木構造物であるダム・トンネル・橋梁を配しました。さらに、立方体として3次元を表現することで、3Dデータなど最新技術の活用を通じた土木技術の進歩向上への貢献を表しています。



日建連表彰「土木賞」の概要

① 募集の前年末までに概ね竣工した土木分野のプロジェクト・構造物を対象にします。

② 施工者は勿論のこと、発注者や設計者など幅広い関係者の応募が可能です。

日建連会員以外の建設会社が施工した案件も対象になります。

③ 施設管理者（発注者を含む）、設計者、施工者（これを支える専門工事業者等を含む）など**多様な関係者**を表彰対象者にします。

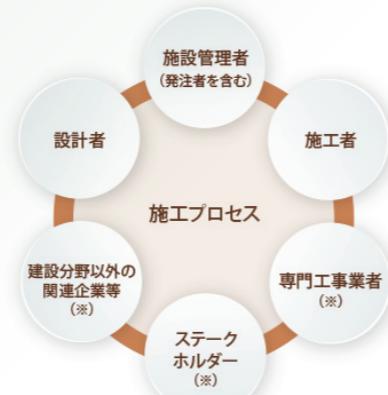
④ 施工者団体が設ける賞として、事業企画から維持管理までの総合評価に加え、**施工プロセスの視点**（施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木技術の発展・伝承など）を重視します。

⑤ 固有の課題への取組みで特に優れているものを**特別賞**として表彰します。

⑥ 特別賞を含め10件内外を表彰します。

⑦ 受賞者には、表彰状、表彰パネル、賞牌を贈呈します。

⑧ 選考にあたっては、学識者、行政、建設コンサルタント、建設施工機械メーカー、メディア、施工者から構成される選考委員会で多面的な評価を行います。



※施設管理者（発注者等を含む）、設計者、施工者を支える関係者

特別賞について

総合評価の結果によらず、固有の課題に対する取組み（施工プロセスを支えた活動、技術開発など）で特に優れた案件を、土木賞の中で特別賞として表彰することとしています。

いわば、施工プロセスにおいて「**何かキラリと光る取組み**」に焦点を当てて選考を行います。

キラリと光る取組み

以下のような、型にはまらない切り口による課題への挑戦が、特別賞として着目されています。

- ◆ 新しい技術を活用しつつ、技術の伝承
- ◆ 構造物の歴史的価値と当時の施工技術の保全
- ◆ 地球温暖化対策（カーボンニュートラル）
- ◆ 前例がなく手探りの施工
- ◆ 地域住民との協働
- ◆ 厳しい工期への挑戦

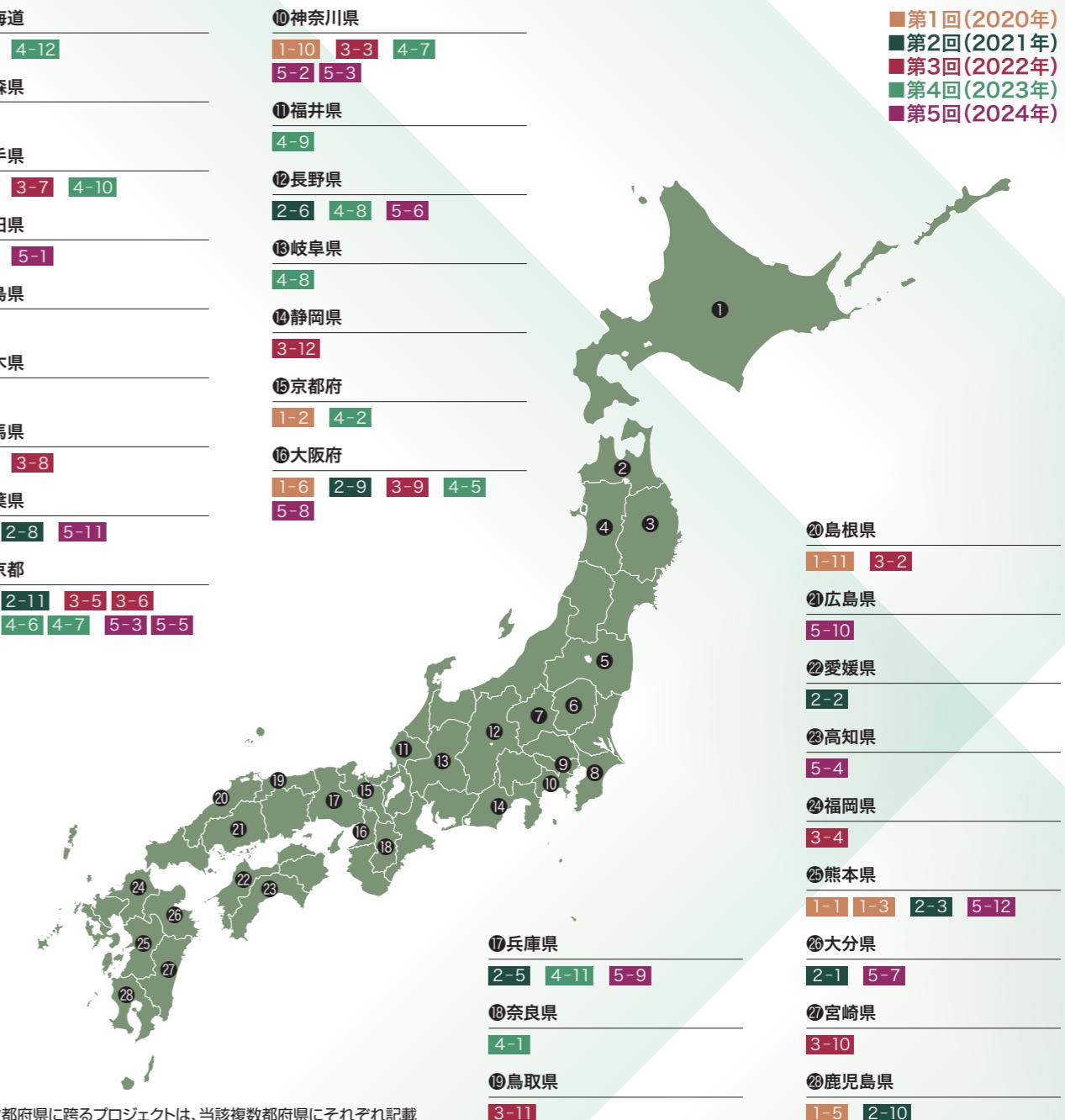
日建連表彰「土木賞」で期待される効果

毎年、優良なプロジェクト・構造物を表彰し、広く内外に紹介することにより、土木に係る事業企画の質及び計画・設計、施工、環境、維持管理、その他土木技術の進歩向上を図ることができます。その結果、良好な土木資産を創出し、わが国の国民生活と産業活動の基盤の充実に寄与することができる（日建連の目的（定款3条）の達成）

受賞プロジェクト・マップ

※下記の番号と色は、次ページ以降に紹介している受賞プロジェクトに対応

①北海道	1-10	3-3	4-7
②青森県	5-2	5-3	
③岩手県	3-7		
④秋田県	1-4	3-7	4-10
⑤福島県	1-8	5-1	
⑥栃木県	1-7		
⑦群馬県	1-9	3-8	
⑧千葉県	2-7	2-8	5-11
⑨東京都	2-4	2-11	3-5 3-6
	4-4	4-6	4-7 5-3 5-5
⑩神奈川県	1-11	3-2	
⑪福井県	4-9		
⑫長野県	2-6	4-8	5-6
⑬岐阜県	4-8		
⑭静岡県	3-12		
⑮京都府	1-2	4-2	
⑯大阪府	1-6	2-9	3-9 4-5
	5-8		
⑰兵庫県	2-5	4-11	5-9
⑱奈良県	4-1		
⑲鳥取県	3-11		
⑳島根県	1-11	3-2	
㉑広島県	5-10		
㉒愛媛県	2-2		
㉓高知県	5-4		
㉔福岡県	3-4		
㉕熊本県	1-1	1-3	2-3 5-12
㉖大分県	2-1	5-7	
㉗宮崎県	3-10		
㉘鹿児島県	1-5	2-10	



※複数都府県に跨るプロジェクトは、当該複数都府県にそれぞれ記載

「日建連表彰 土木賞 —建設業の功績と価値を未来へ—」 PR映像



PR映像はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL https://www.youtube.com/watch?v=MjBVphvYdDM



日建連表彰 土木賞
—建設業の功績と価値を未来へ—
土木賞創設、選考プロセスを紹介

土木賞選考委員長
木村 亮

第1回 (2020年)

①阿蘇大橋地区斜面防災対策工事
i-Constructionを活用した迅速・安全な
大規模災害復旧



所在地／熊本県 竣工日／2017年11月20日

④国道45号夏井高架橋工事における
i-Bridge の取組み
橋梁工事における生産性向上「i-Bridge」を実施



所在地／岩手県 竣工日／2018年9月28日

⑦福島第一原子力発電所陸側遮水壁
(凍土壁)
世界最大の凍土遮水壁による廃炉・復興への貢献



所在地／福島県 竣工日／2018年3月31日

⑩横浜北線鉄道(JR, 京急)交差部
新設工事
10線路と立体交差する曲線桁の跨線道路橋



所在地／神奈川県 竣工日／2017年10月30日

②天ヶ瀬ダム再開発
トンネル放流設備流入部建設工事
3次元に可視化して高難度な水中工事を克服



所在地／京都府 竣工日／2019年3月29日

⑤鶴田ダム再開発事業
ダム再生ビジョンを代表するリーディングプロジェクト



所在地／熊本県 竣工日／2018年3月20日

⑥阪神高速道路大和川線
シールドトンネル工事
特殊条件下における大断面シールドトンネルの施工



所在地／大阪府 竣工日／2019年3月31日

⑧三種浜田風力発電所建設プロジェクト
ワインドリフト工法による巨大風車の組立



所在地／秋田県 竣工日／2017年10月31日

【特別賞】
⑪湖陵多伎道路多伎PC上部工事
橋梁工事の生産性向上・品質管理への取組み



所在地／島根県 竣工日／2019年1月31日

③荒瀬ダム本体等撤去工事
日本初の本格的なコンクリートダム撤去工事



所在地／熊本県 竣工日／2018年3月20日

⑨ハッ場ダム本体建設工事
高品質を確保しつつ大幅な工程短縮を実現

第2回 (2021年)

①大分川ダム建設工事
フィルダム建設へのICT実装による
i-Construction推進加速



所在地／大分県 竣工日／2020年3月31日

②鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事
(新阿蘇大橋 渡河部)
熊本地震からの早期復興にむけた
阿蘇大橋の架け替え工事



所在地／愛媛県 竣工日／2019年11月29日

⑤新名神高速道路
神戸ジャンクション建設プロジェクト
社会的影響を最小限にした供用高速道路の
ジャンクション増設工事



所在地／兵庫県 竣工日／2018年8月19日

⑧東京外環自動車道 大和田工事
住宅密集地における国内最大規模の
開削トンネル・シールド工事



所在地／千葉県 竣工日／2019年7月9日

⑩北薩横断道路 北薩トンネル出水工区
山岳トンネルの大量湧水を減水する
「RPG(Ring-Post-Grouting)工法」の開発



所在地／鹿児島県 竣工日／2017年3月17日

The 1st Construction Excellence Prize

1

③国道325号 阿蘇大橋上下部工事
(新阿蘇大橋 渡河部)
熊本地震からの早期復興にむけた
阿蘇大橋の架け替え工事



所在地／熊本県 竣工日／2021年3月3日

⑥中央自動車道(特定更新等)
弓振川橋床版取替工事
夜間のみの交通規制で床版を取り替える
「DAYFREE」の開発と施工



所在地／長野県 竣工日／2021年5月24日

⑨阪神高速道路
西船場 JCT 下部その他工事
都市高速道路を供用しながらの拡幅技術



所在地／大阪府 竣工日／2020年8月31日



受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL <https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2020>

The 2nd Construction Excellence Prize

2

③国道325号 阿蘇大橋上下部工事
(新阿蘇大橋 渡河部)
熊本地震からの早期復興にむけた
阿蘇大橋の架け替え工事



所在地／熊本県 竣工日／2021年3月3日

⑥中央自動車道(特定更新等)
弓振川橋床版取替工事
夜間のみの交通規制で床版を取り替える
「DAYFREE」の開発と施工



所在地／長野県 竣工日／2021年5月24日

⑨阪神高速道路
西船場 JCT 下部その他工事
都市高速道路を供用しながらの拡幅技術



所在地／大阪府 竣工日／2020年8月31日



受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL <https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2021>

第3回 (2022年)

1一般国道40号 音威子府村 音中トンネル工事

蛇紋岩の強大地圧下における山岳トンネルの建設



所在地／北海道 竣工日／2022年6月10日

4高尾川地下河川整備事業

住宅密集地を流れる河川直下での地下河川整備



所在地／福岡県 竣工日／2020年7月30日

7東北自動車道

十和田管内高速道路リニューアル工事
フルプレキャスト・コッター床版工法を用いた
新しい建設システムの構築



所在地／岩手県～青森県 竣工日／2022年3月22日

10山須原発電所ダム通砂対策工事

国内初! 3ダム連携通砂事業を目指した
ダムリニューアルへの挑戦



所在地／宮崎県 竣工日／2022年5月31日

2千本ダム耐震補強改修プロジェクト 新横浜駅地下鉄交差部土木工事

市民生活を支えて100年、文化遺産のインフラを
メンテナンスでさらに100年



所在地／島根県 竣工日／2020年12月23日

5東京港臨港道路南北線沈埋函 (4号函・5号函・6号函)製作・築造等工事

海中における長大コンクリート構造物
(沈埋トンネル函)の接合への挑戦



所在地／東京都 竣工日／2020年5月29日

8発電所水圧鉄管路のTBMによる 斜坑掘削プロジェクト(神流川発電所)

グリーン社会の実現に向けた
水力発電需要に貢献する斜坑掘削技術の発展



所在地／群馬県 竣工日／2008年4月30日

11史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事 浜松防潮堤建設工事

文化財である城跡の木造橋を日本初の工法で復元
地元と共に造った「CSGによる“日本最長”防潮堤」

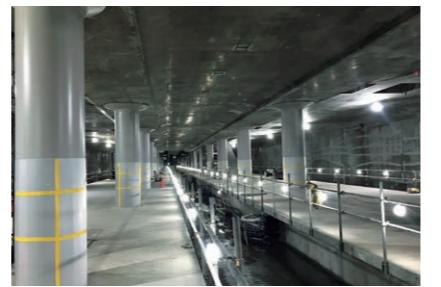


所在地／鳥取県 竣工日／2019年3月29日

The 3rd Construction Excellence Prize

3相鉄東急直通線 新横浜駅地下鉄交差部土木工事

駅の下に駅をつくる
～駅前交差点直下における大規模アンダーピニング



所在地／神奈川県 竣工日／2022年1月31日

6東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事

鉄道営業線大規模改良工事における
BIM/CIMの実践
(沈埋トンネル函)の接合への挑戦



所在地／東京都 竣工日／2021年3月15日

9阪神高速12号守口線床版更新工事

既設床版急速撤去工法と高耐久軽量PCaPC床版
を用いた床版更新技術の高度化

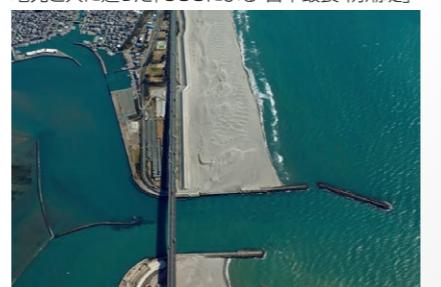


所在地／大阪府 竣工日／2021年4月30日

【特別賞】

12浜松市沿岸域津波対策施設等整備事業 浜松防潮堤建設工事

地元と共に造った「CSGによる“日本最長”防潮堤」



所在地／静岡県 竣工日／2020年5月7日

第4回 (2023年)

1赤谷3号砂防堰堤工事 建設工事(I期～Ⅲ期)

国内初となる災害現場における砂防堰堤自動化施工



所在地／奈良県 竣工日／2023年3月20日

4環2地下トンネル(仮称)及び築地換気所 (仮称)ほか築造工事(27—環2築工区)

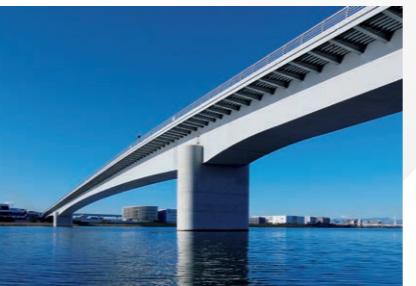
高度に土地利用がされた東京都心での
道路建設における施工面での様々な工夫



所在地／東京都 竣工日／2023年3月16日

7多摩川スカイブリッジ

国内最大の支間長を誇る橋梁～空、橋、河川の三層
が織りなす優雅な曲線とスレンダーなシルエット～



所在地／東京都～神奈川県 竣工日／2022年3月31日

10陸前高田市震災復興事業の 工事施工等に関する一體的業務

土砂運搬専用吊り橋により工程を大幅に短縮した
大規模土工事

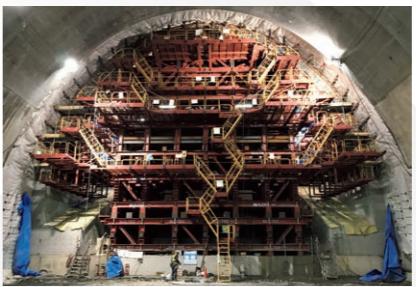


所在地／岩手県 竣工日／2021年2月28日

The 4th Construction Excellence Prize

2天ヶ瀬ダム再開発トンネル減勢池部 建設工事(I期～Ⅲ期)

困難な条件下における国内初の
超大断面トンネル型減勢工の建設



所在地／京都府 竣工日／2023年3月31日

3五十里ダム施設改良工事・五十里ダム 取水放流設備新設工事

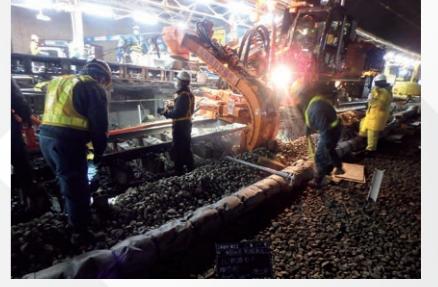
今後のハイブリッドダムの取組みを促進する
無振動ダム堤体削孔技術の開発



所在地／栃木県 竣工日／2020年2月27日

6JR飯田橋駅ホーム移設事業

徹底した機械化による急速施工で安全性向上
「過去に例のない軌道低下・ホーム低下工事」



所在地／東京都 竣工日／2022年5月31日

9北陸新幹線 福井開発高架橋建設プロジェクト

国内初のフルプレキャストによる
鉄道ラーメン高架橋の急速施工



所在地／福井県 竣工日／2021年7月5日

【特別賞】

12芽登第二発電所 導水路改造プロジェクト

前例のない発破方法により極寒地の日本最古級
PC水路橋を解体! 電力インフラの導水路を更新



所在地／北海道 竣工日／2022年7月29日



受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL <https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2022>



受賞案件の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。
URL <https://www.nikkenren.com/doboku/prize/award/2023>

①秋田新幹線斎内川橋りょう改築工事



■所在地 秋田県大仙市
■施設管理者 東日本旅客鉄道
■設計者 JR東日本コンサルタンツ
■施工者 鉄建建設
■関係者 ジェイティック ユニオン建設
羽賀興業 川田建設
宮地エンジニアリング
第一建設工業 日本電設工業
日装施設 ハンシン建設
日本基礎技術
■着工日 2017年7月27日
■竣工日 2023年2月28日

工期を2年短縮した活線施工での河川改修事業のための新設橋りょう工事
斎内川において堤防が決壊し浸水被害が発生したことを受け、1径間開床式 PRC ランガーボード（橋長71.1m）を採用した新幹線初となる横取り一括架設による橋りょう改築工事。新橋りょうと新橋台の同時構築により、架替え工程を約2年短縮し、秋田県が進める斎内川改修事業の早期完了に大きく貢献した。

②JR横須賀線武蔵小杉駅2面2線化他



■所在地 神奈川県川崎市
■施設管理者 東日本旅客鉄道
■設計者 JR東日本コンサルタンツ
■施工者 大林組
■関係者 小林工務店 大木建設
JFEスチール ジェコス
■着工日 2019年11月29日
■竣工日 2023年9月20日

ECI方式での設計・施工による駅周辺の混雑緩和に向けた取り組み

JR 武蔵小杉駅利用者の急増による混雑緩和と利用者の電車との接触・転落事故等のリスク対策として、1面2線のホームを「安全に早く」2面2線のホームに改築する工事。ICT・BIMやプレキャスト柱部材の採用、新しい仮設土留工法の適用等、ECI方式で施工会社の持つ技術力とノウハウを最大限活用し、駅利用者の安全性・利便性を早期に確保した。

③首都高速道路高速大師橋更新事業

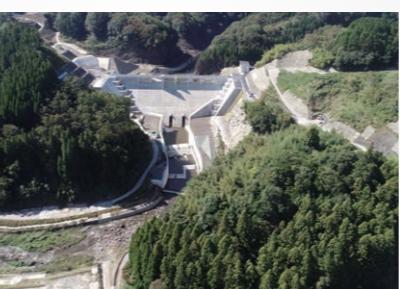


■所在地 東京都大田区、神奈川県川崎市
■施設管理者 首都高速道路
■設計者 大成・東洋・IHI・横河高速大師橋更新事業異工種JV
■施工者 島川工業
ナブコ、オックスジャッキ
八千代建設 大成ロテック
日本リーテック
深田サルベージ建設 技研施工
川野建設 第一カッター興業
日本圧送 竹本基礎工事
■着工日 2017年6月23日
■竣工日 2023年6月9日

高速1号羽田線の交通規制を伴った河川上での横取り一括架替え

交通量一日約8万台の重交通路線の老朽橋架け替え工事。通行止め2週間という限られた時間内で、交通への影響、河川環境・近隣住民への影響を如何にして最小限に抑えるのか。答えは、橋軸方向・橋軸直角方向同時にスライドできる2軸横取り装置による一括架設工法。時間短縮や自然環境・近隣環境配慮の手法は、今後の類似事業の好事例となる。

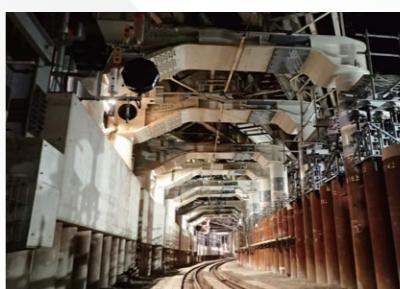
⑦玉来ダム本体建設工事



■所在地 大分県竹田市
■施設管理者 大分県
■設計者 建設技術研究所
■施工者 大成・宮・友岡特定JV
高山組 玉石重機 日特建設
成豊建設 ヤマウ
■着工日 2017年4月1日
■竣工日 2023年3月15日

洪水被害を経験してきた市民に安全・安心を提供する洪水調節専用ダムの建設
度重なる洪水被害を受けた竹田市民への安心・安全を提供するダム建設事業。ダムサイトに不向きな地質条件の中、造成アバトメント（人工岩盤）による安定性確保、超高透水性層に対する複列カーテングラウチングによる遮水層構築等、多くの課題を克服し、貴重種の移植など環境面へも尽力するなど様々な工夫によりダムを構築した。

⑧東海道線支線南2地区路盤新設工事



■所在地 大阪府大阪市
■施設管理者 西日本旅客鉄道
■設計者 ジェイアール西日本コンサルタンツ
■施工者 大成建設・大鉄工業特定JV
駒井ハルテック MARUTA
吉田重機建設
オカモト・コンストラクション・システム
山桜工業 田村建設
ハンシン建設 大成ロテック
高砂金属工業 根建組 ミック
喜多重機興業 守軌道 林正
オックスジャッキ
■着工日 2016年3月31日
■竣工日 2024年2月29日

狭隘接近東海道本線営業線直下での交差部朽受替・直下切換工事

営業中の現在の線路を直下で地下化する工事。東海道本線が28°斜交差し本線直下の区間では本線や現在の支線の列車運行を阻害しないよう段階的に受け替えるステップを考案したり、東海道本線と大阪環状線に挟まれた箇所では工事桁の縦取り搬送システムを開発するなど、様々な創意工夫により15時間以内での地下化切換を実現した。

⑨阪神高速3号神戸線床版更新工事



■所在地 兵庫県神戸市
■施設管理者 阪神高速道路
■設計者 飛島建設
■施工者 鹿島建設 清水建設
■関係者 第一カッター興業
オリエンタルコンサルタンツ
富士ビー・エス・デンカ
住友電気工業
丸栄コンクリート工業
昭和コンクリート工業
ユニタイト 巴機械工業
王子ホールディングス 進晃
■着工日 2022年8月30日
■竣工日 2023年10月31日

工程短縮と社会的影響の最小化に貢献する都市高速道路の床版更新技術

都市高速道路の社会的影響の最小化や構造面で解決すべき課題をこれまでに培った知見や最新の技術を駆使して解決した床版更新工事。工事用車両の転回施設、多くの異工種の並行稼働、工事区間適切分割等で規制時間短縮を可能にし、プレキャスト床版の導入で、工程短縮と建設費・ライフサイクルコスト低減を実現した。

④新日下川放水路工事

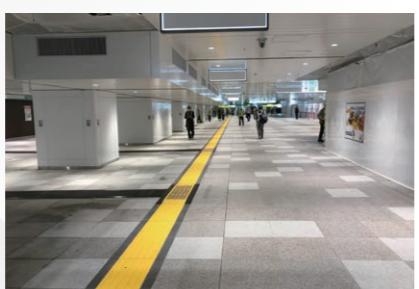


■所在地 高知県高岡郡日高村～吾川郷いの町
■施設管理者 国土交通省四国地方整備局
■設計者 いであ
■施工者 鹿島建設
熊谷組・大豊建設特定JV
協拓建設 タカハシ工務店
ガイアート 日特建設
■着工日 2018年1月17日
■竣工日 2023年7月31日

早期通水により浸水被害から地域を守る国内最長の放水路工事

国内最長となる狭隘なトンネル放水路の新設に向けて、様々な機械化・自動化、IT化技術を開発し、導入することで、施工時の安全性向上や人員削減、工期短縮を実現している。施工中通水の実施に向けて様々な取り組みや放水路のインフラソリューションへの活用など、地域との連携も十分に図られており、防災インフラ整備事業の模範となっている。

⑤新宿駅東西自由通路新設工事



■所在地 東京都新宿区
■施設管理者 東日本旅客鉄道
■設計者 JR東日本コンサルタンツ
■施工者 大成建設
■関係者 高橋建設 日特建設
■着工日 2012年9月26日
■竣工日 2022年5月20日

約300万人が利用する世界一のターミナル駅周辺の回遊性向上

世界一のターミナル駅であるが、鉄道施設により東西のまちが長年分断されていた。狭隘な構内で旅客動線を切り替える場所が多く、同じ位置に通路を維持する工法に加え、周囲を商業施設に囲まれる厳しい立地のため作業用トンネルを掘り、最短3時間という短い作業時間に克服し、自由通路建設を成し遂げた。

⑥清内路水力発電所新設工事の内土木・建築本工事



■所在地 長野県下伊那郡阿智村
■施設管理者 中部電力
■設計者 前田・西松・シーテック・吉川・木下JV
■施工者 木下工務所 橋本建設
中日本技工 丸河商事
櫻井技研工業
■着工日 2018年3月1日
■竣工日 2022年7月20日

日本一の星空の村で日本一狭いトンネルをNATM工法で5km掘削

巨大な堤体を要するダム式に比較して、堰堤からの取水により低コストで環境負荷の少ない流れ込み式水力発電所の建設工事。導水路トンネル掘削に極狭小断面のNATM工法レール方式、高低差のある水槽工事に長距離圧送のためのコンクリート性状の最適化、水圧管路工事に溶接不要のFRPM管採用等の種々の工夫を重ね、建設コストのVFM(Value For Money)を向上させた事例である。

⑩三ツ子島埠頭第三桟橋新設工事



■所在地 広島県吳市
■施設管理者 三ツ子島埠頭
五洋建設
■設計者 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
国立大学法人東京工業大学
大新土木 深田サルベージ建設
パシフィックコンサルタンツ
三ツ子島埠頭
■施工者 木下工務所 橋本建設
中日本技工 丸河商事
櫻井技研工業
■着工日 2021年7月1日
■竣工日 2023年8月31日

国内初のRC中空構造を採用した大型プレキャスト部材による桟橋の急速化施工

新設の桟橋上部工に軽量化のために発泡スチロールを内包した大型RC中空プレキャストフラットスラブを採用した工事。大型プレキャスト部材の採用で、完成工期を56%低減すると同時に、作業人工の27%低減、建設コストの11%低減も実現し、産官学協働で新しい着想に基づきプレキャスト部材のVFM(Value For Money)を向上させた事例である。

【特別賞】
⑪蔵王隧道・拡幅工事(県単道路改良幹線)工事

■所在地 千葉県君津市
■施設管理者 サンコーワンダルタント
■設計者 飛島・伊藤特定JV
■施工者 国道465号バイパス期成同盟会
■着工日 2020年12月23日
■竣工日 2023年3月24日

道路使用の安全と周辺住民の生活環境に配慮したトンネル活線拡幅の施工

長距離かつ狭小な導水路トンネルの復旧と再生。2016年熊本地震の震源断層で被災した狭小な導水路トンネルの復旧工事。一日早い発電所の再開を目指す本工事の施工にあたり、事前にトンネル被害が把握できず、順次施工しながら調査を進め、落盤個所や損壊の程度、流入土砂の堆積状況等を把握し、対応方針の策定、設計、施工計画策定を発注者、施工者、協力会社が都度協議し工事を遂行した。

【特別賞】

⑫白川発電所 熊本地震の震災復旧工事



■所在地 熊本県菊池郡大津町
■施設管理者 JNC
■設計者 JNC JNCエンジニアリング
■施工者 八千代エンジニアリング
丈建築事務所
■着工日 2015年6月22日
■竣工日 2020年5月15日

震源断層などの影響で被災した長距離かつ狭小な導水路トンネルの復旧と再生

2016年熊本地震の震源断層で被災した狭小な導水路トンネルの復旧工事。一日早い発電所の再開を目指す本工事の施工にあたり、事前にトンネル被害が把握できず、順次施工しながら調査を進め、落盤個所や損壊の程度、流入土砂の堆積状況等を把握し、対応方針の策定、設計、施工計画策定を発注者、施工者、協力会社が都度協議し工事を遂行した。





選考～受賞後

第二次選考の様子（現地調査、プレゼンテーション）



表彰式の様子



表彰パネルの設置風景



阿蘇大橋地区斜面防災対策工事
(第1回土木賞受賞)

国道325号阿蘇大橋上下部工事（新阿蘇大橋渡河部）
(第2回土木賞受賞)

大分川ダム建設工事（第2回土木賞受賞）
(第2回土木賞受賞)



年間スケジュール

11月	次年募集要項発表
1月	募集(約1カ月)
～4月頃	第一次選考(書類選考)
～6月	第二次選考(現地調査、プレゼンテーション)
8～9月	選考結果公表
11～12月	表彰式



応募プロジェクトの事例

事例1

技術開発により大幅な生産性の向上(工期短縮)を図った工事

■施工プロセスの視点

生産性向上(工期短縮)

環境の維持(CO₂排出量削減)

急速施工技術として実績のある○○工法について打設後、○時間で型枠が外される状況でも所定の耐久性を確保できることを確認し、同工法の採用を決定、大幅な工期短縮を実現した。

事例2

徹底的な無人化施工技術の活用により、工事現場の安全確保を図った工事

■施工プロセスの視点

生産性向上(機械化・ロボット化、i-Construction)

特別な事業マネジメント

復興支援

人が立ち入ることができない条件の工事現場において、調査・設計・施工・管理のすべての段階においてi-Constructionを取り入れ、安全かつ迅速に工事を進めるとともに、受発注者が一体となった事業マネジメント体制を構築することで、早期完成を実現した。

事例3

狭隘で制約が多い小規模現場を工夫により問題解決を図った工事

■施工プロセスの視点

生産性向上(工期短縮)

特別な安全対策(第三者、施工者)

小規模工事

他工事近接現場で、人力による運搬に頼らざるを得ない等の小規模ながら施工条件に制約が多く、工期遵守や安全性向上のために、建設機械の改良、張りブロックの小型化の提案などにより、これらの課題を解決した。